

受章おめでとうございます

平成30年春の褒章 監授褒章

【調停委員功績】

袁川 恵子さん（金谷東一丁目）

平成12年4月に調停委員に就任して以来、家庭裁判所で行う家事調停を担当し、家事案件解決のため尽力されました。

◎秘書課 ☎36・7117

第30回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章【警察功労】

小澤 忠三さん（中河町）

昭和40年から静岡県警察官を務められ、主に交通対策部門において地域住民の安全・安心な生活を守るため、ご活躍されました。



「ASAR国際馬頭琴コンサート」開催

◎観光課 ☎36・7409

5月18日に、プラザおおるりホールで、「ASAR国際馬頭琴アンサンブル」のコンサートが開催されました。

これまで主宰のアヨシ・バトエルデネ氏は、世界で活躍するモンゴル楽器演奏者たちによるコンサート活動を東京都内で行っていました。このたび、市がモンゴル国ボクシングチームの2020年東京オリンピック事前合宿地になったことから、公演が実現。来場者は、馬頭琴などの力強くも美しい音色に聞き入っていました。



華やかな民族衣装を身にまとった演奏者たち

「悠久の大井川」売上金の一部を寄付

◎環境課 ☎36・7145

日本酒「悠久の大井川」の売上金の一部が、発売元のカネキチ(株)の伊藤慎之助代表取締役社長と製造元の(株)大村屋酒造場の松永孝廣代表取締役社長から、市に寄付されました。

同商品は、平成20年に島田市と旧川根町の合併記念で作られた日本酒。1本の販売につき100円が大井川の環境保全のために市へ寄付され、今年度は21万2400円が寄付されました。染谷市長は「島田は大井川の恵みで発展したまち。寄付を有効・適切に使いたい」とお礼を述べました。



目録を手渡す伊藤社長（前列左）と松永社長（前列右）

専門学生が帯シャツを使ったコーディネート提案

◎商工課 ☎36・7164

夏の軽装「クールビズ」に合わせて、市では帯生地を使った「島田帯シャツ」をPRするため、静岡デザイン専門学校が考えたコーディネートと、市役所ロビーに展示しました。

これは、呉服店などが構成する帯シャツブランド協議会が初めて企画したもの。ばらの丘公園や蓬萊橋など、市内の観光名所に若いカップルが出掛ける場面を想定し、ビジネス向けシャツのカジュアルな着こなし方を提案しています。



帯シャツの新しい着こなし方を提案

リッチモンド学生親善使節の帰国報告会を開催

◎地域づくり課 ☎36-7390

5月12日、姉妹都市である米国リッチモンド市へ派遣された学生親善使節8人の帰国報告会が、ローズアリーナ研修室で行われました。

使節たちは、3月21日からの11日間、ホームステイをしながら現地で見たり感じたことを、写真を交えて発表。「学校を訪問して新しい友人ができた」「ホームステイ先で同世代の子がいて楽しく過ごせた」など現地での体験を、思い思いに語ってくれました。



海外での経験から得たものを9人が発表

島田市緑茶化計画コンセプト第2弾を発表

◎広報情報課 ☎36-7355

市は、島田市緑茶化計画オリジナル緑茶ブランド「Green Ci-Tea vol.2」を開発しました。

市茶業振興協会や大井川農業協同組合と連携し、シテイプロモーションの一環として企画。今回は、緑茶の製造過程で生まれる「出物」と呼ばれる副産物に着目し、「芽茶」「茎茶」「粉茶」のそれぞれ特徴のある3種類を用意しました。蓬萊橋の物産販売所「蓬萊橋897・4茶屋」で販売するなど、市内外でのプロモーション活動で活用していきます。



3種入りのギフトセット「緑茶愛ことはじめ vol.2」

市内企業が心臓マッサージ実習キットを小中学校へ寄贈

◎商工課 ☎36-7164

産業用繊維資材メーカーのサカイ産業株式会社から5月9日、心臓マッサージ実習キット「Dockun」140個が、市に寄贈されました。

このキットは、サカイ産業が静岡文化芸術大学や東邦大学医学部と共同で開発。心臓や肺の役割などが一目で分かり、正しいマッサージができていくか確認することができ、仕組みです。酒井昌浩社長は「創業100周年目に、何か地域貢献できないかと考えていた。役立てていただければありがたい」と述べました。実習キットは、市内全中学校に配布



染谷市長に使用方法を説明する酒井社長(右)

され、救命法の学習などに役立てられる予定です。

臓器移植が題材の絵本を日本移植支援協会が寄贈

◎図書館課 ☎36-7226

5月28日、NPO法人日本移植支援協会から臓器移植をテーマにした絵本「大きな木」68冊が市へ寄贈されました。

この絵本は、サッカー好きの兄が脳死と判定され、臓器提供により他人の命を救ったことを、弟が後に知る話です。高橋和子理事長は「市民の皆さんに、命について考えるきっかけにしたら」と話しました。絵本は、市内の全小中学校と図書館

に配布するとともに、命を考える教育に役立てていきます。



本を手にする高橋理事長(中央)